

6-9 沖縄地方とその周辺の地震活動（1992年5月～1992年10月）

Seismic Activity in and around the Okinawa District (May, 1992 – October, 1992)

沖 縄 気 象 台

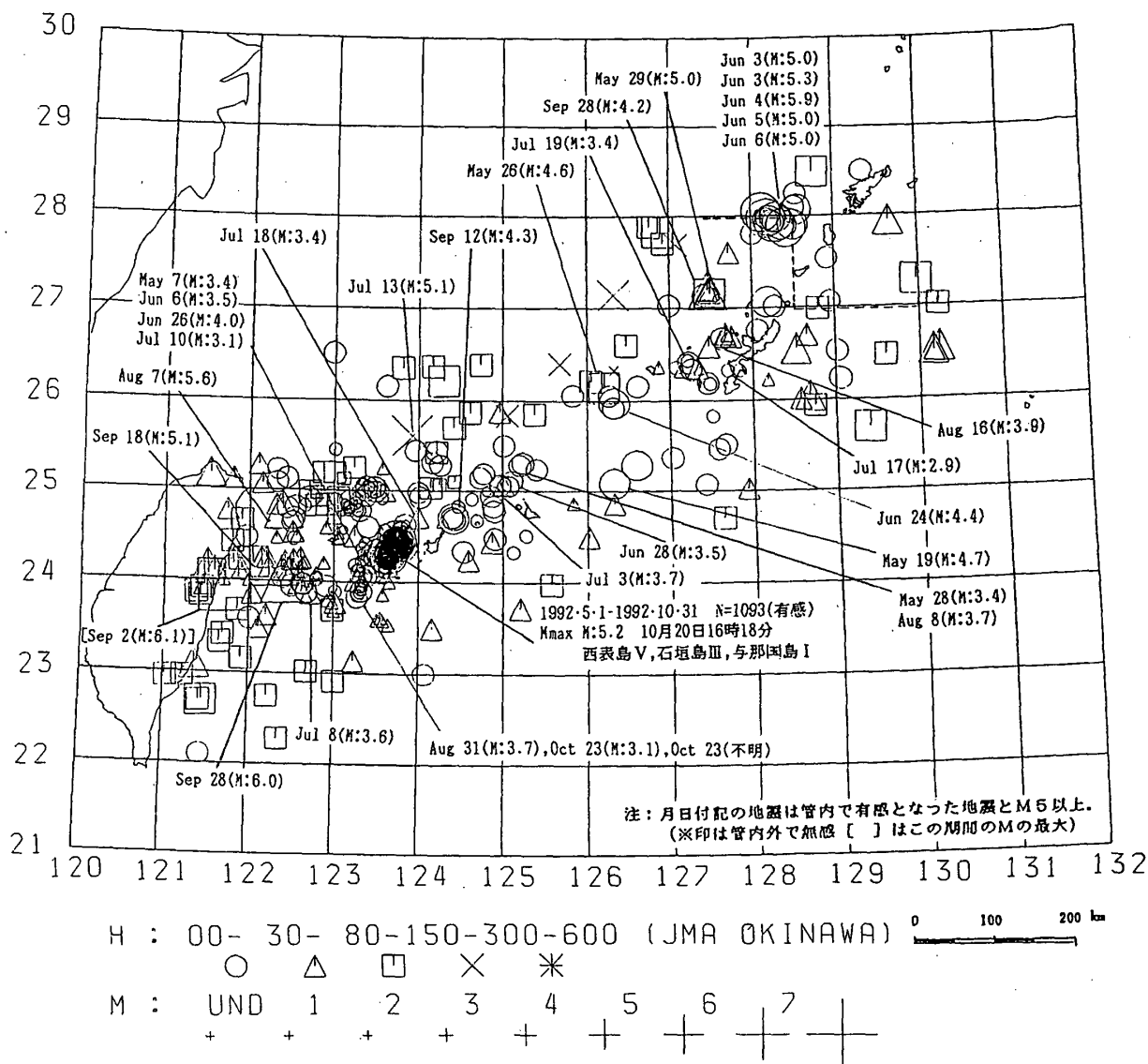
Okinawa Meteorological Observatory, JMA

1992年5月から1992年10月までの震央分布を第1図に、与那国島における日別地震回数（黒塗り）はS-P時間 ≤ 6.0 秒の地震回数を第2図に、1992年5月から1992年7月までの震央分布を第3図に、1992年8月から1992年10月までの震央分布を第4図に示す。この期間地震が頻発し、特に石垣島近海（西表島付近）では8月下旬には西表島西方沖で、また9月中旬頃からは西表島北部沿岸付近で地震活動が活発となり、西表島測候所において震度Vを5回含む1104回の有感地震を観測した。詳細は本巻別項参照。

5月29日21時39分沖縄島近海で発生した地震（M5.0）は名護で最大震度IIを観測した。6月4日13時04分沖縄島北方沖（名護の北約150km）で、M5.9の地震が発生した。同海域では、この地震を含め12個の震源が決定したが、管内ではいずれも無感であった。同海域には硫黄島島の火山があり、最近では1968年7月に噴火している。6月12日14時頃から与那国島付近で頻発した地震（与那国島のS-P、5～6秒）は、同日23時頃まで続き181個の地震が観測された。地震の規模は小さく、震源決定された12日14時44分の地震のMも2.6であった。震央が決まった与那国島の北方約50kmの海域では1986年3月に活発な群発地震活動があり、与那国島で11回の有感地震を観測している。7月13日19時56分石垣島近海で地震（M5.1）が発生し、西表島で最大震度IIであった。8月7日06時29分台湾東方沖で、M5.6の地震が発生した。この地震で、西表島で震度Iを観測した。さらに台湾東方沖では9月2日01時41分、M6.1の地震が発生し、西表島測候所で震度IIを観測した。

8月20日23時44分の震度IIの地震で始まった西表島西方十数km沖の海域の地震活動は、24日12時04分の震度IVの地震（M5.2）1回を含め8月の下旬までに26回の有感地震を観測した。9月17日より西表島北方数km沖の海域で始まった地震活動が9月23日頃から活発となり、9月の下旬までに震度IV7回を含む192回の有感地震を西表島測候所で観測した。この間のMの最大は、4.0（29日23時29分震度IV：西表島、I：石垣島）である。10月20日16時18分石垣島近海で、西表島北方海域の群発地震で最大のM5.2の地震が発生した。この地震で、西表島で最大震度Vを観測した。

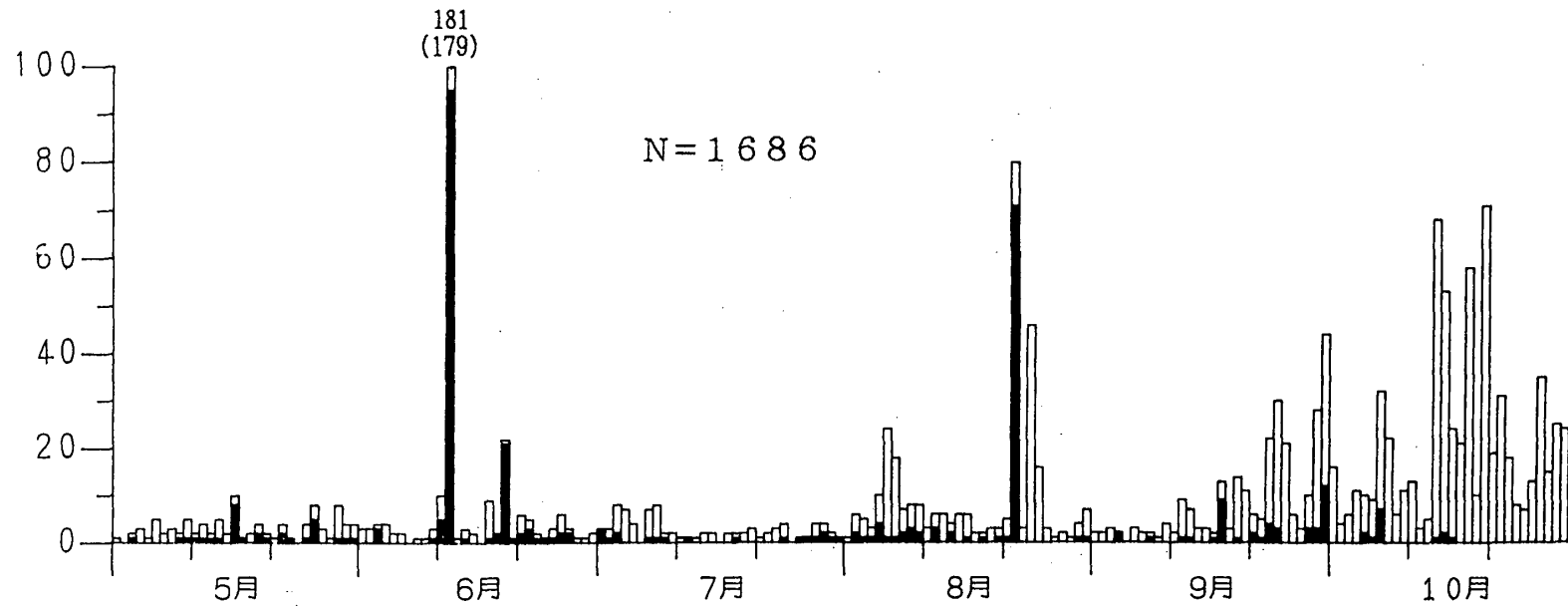
1992 5 1 --- 1992 10 31 N=951



第1図 震央分布 (1992年5月~1992年10月)

Fig. 1 Epicentral Distribution (May, 1992 - October, 1992).

与那国島における日別地震回数 (1992年)
 S-P (全体) ≤ 60 秒, S-P (■) ≤ 6 秒

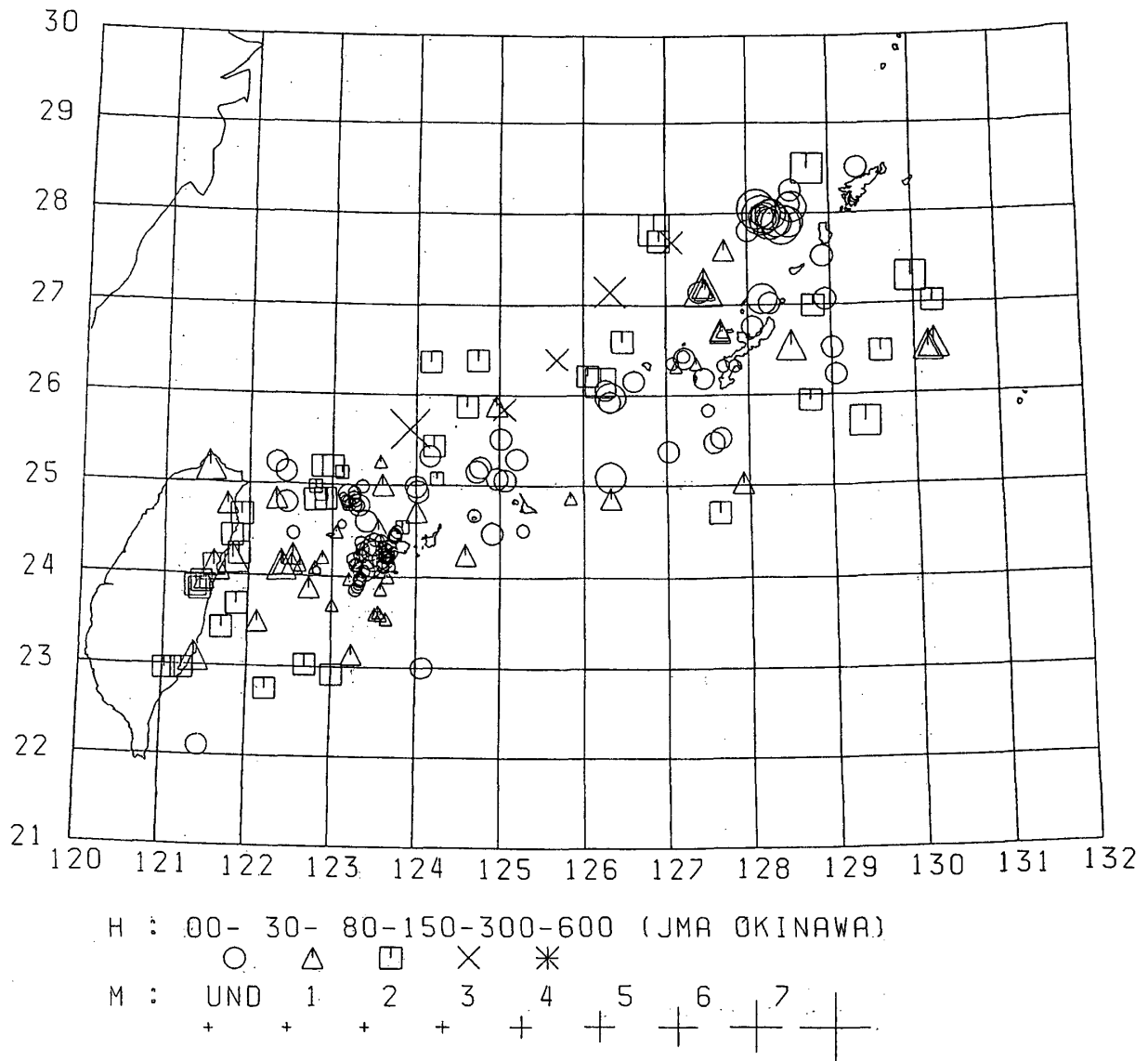


第2図 与那国島測候所における日別地震回数 (1992年5月~1992年10月)

Fig. 2 Daily number of earthquakes observed at Yonagunijima weather station (May, 1992 – October, 1992).

1992 5 1 --- 1992 7 31

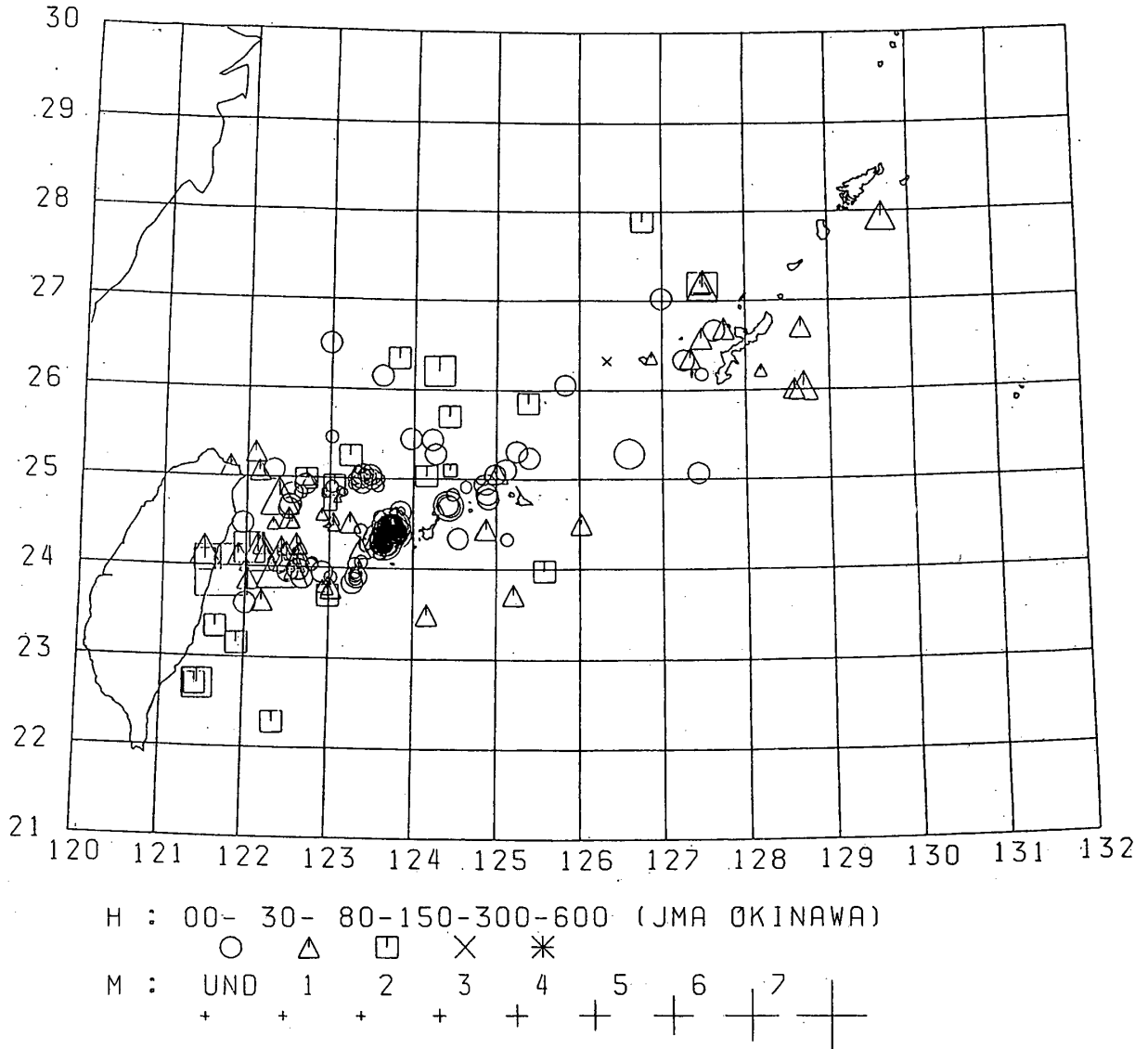
N=225



第3図 震央分布 (1992年5月~1992年7月)

Fig. 3 Epicentral Distribution (May, 1992 - July, 1992).

1992 8 1 --- 1992 10 31 N=726



第4図 震央分布 (1992年8月~1992年10月)

Fig. 4 Epicentral Distribution (August, 1992 - October, 1992).